

ハツ場ダム建設事業の 検証に係る検討の経緯

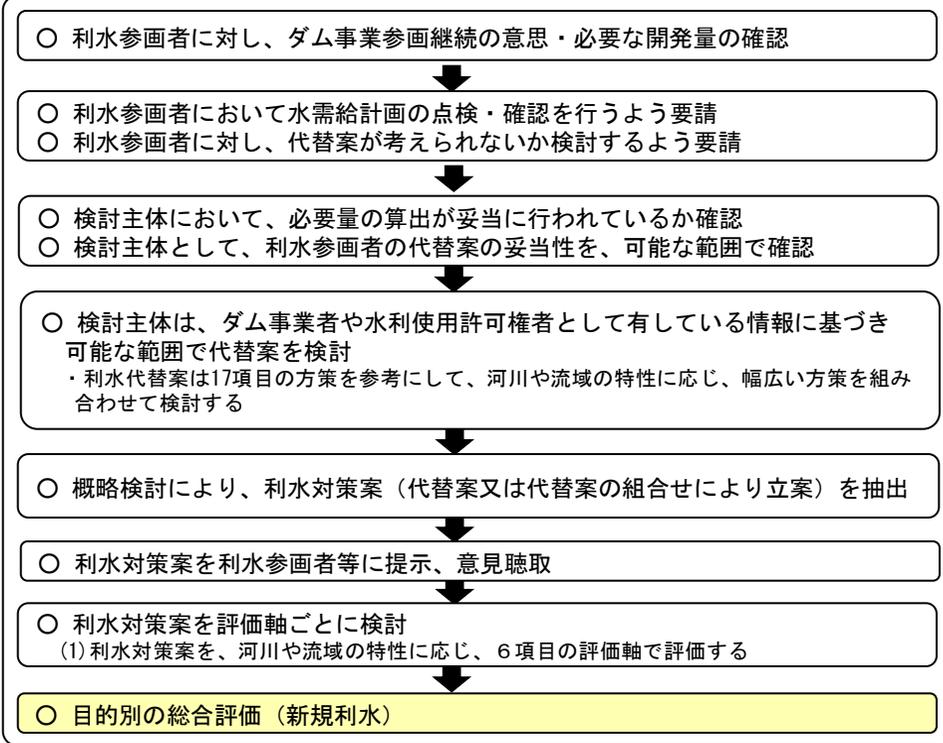
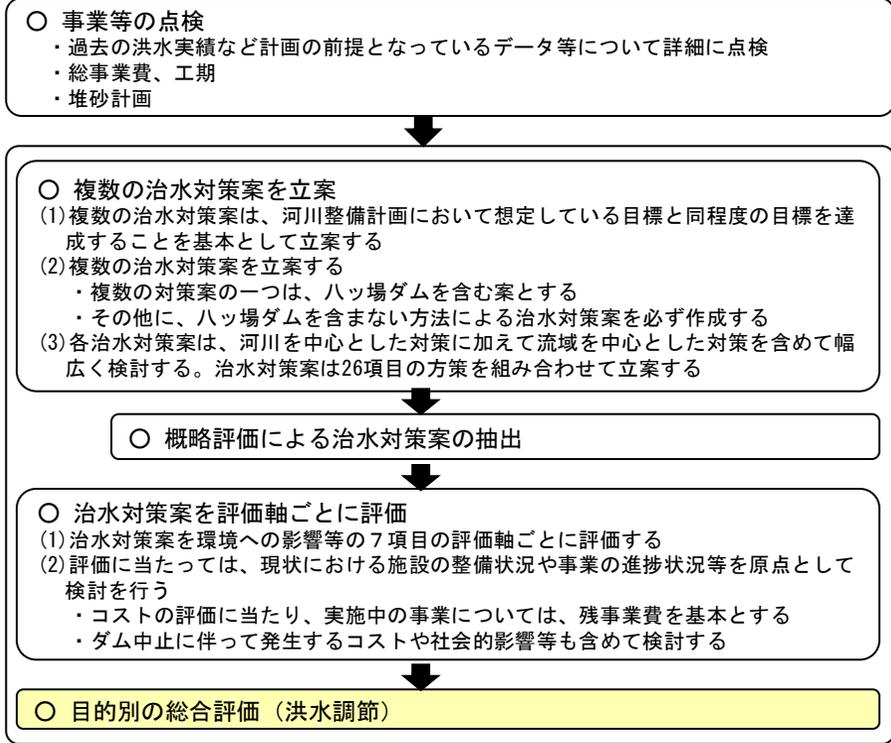
平成23年9月13日

国土交通省 関東地方整備局

ハツ場ダム建設事業の検証に係る検討の経緯について

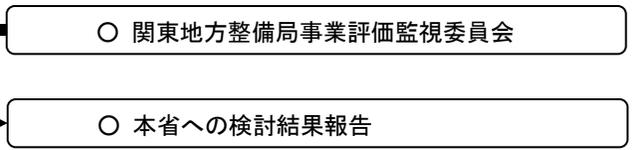
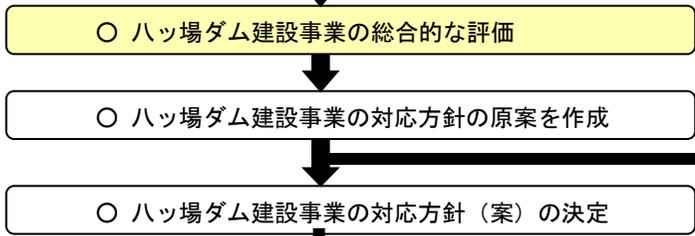
「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」

平成24年度政府予算案に反映できるよう、今年の秋までに検証の結論を得ることを目標とする。



○ 流水の正常な機能の維持の観点からの検討

○ 目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持）



<基本高水の検証>
ハツ場ダムの検証と並行して、新たな流出計算モデルを構築し、基本高水について検証を行う。

<再評価の実施手順>
※ 主要な段階でパブリックコメント行い、幅広く意見を募集する
※ 学識経験を有する者、関係住民、地方公共団体の長、関係利水者の意見を聴く

関係地方公共団体からなる検討の場 幹事会の開催状況

月 日	実 施 内 容	
平成22年 10月1日	第1回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規約について ・ 今後の検討の進め方について
11月11日	第2回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検証に係る検討の今後の予定 ・ 雨量データ及び流量データの点検の進め方 ・ 基本高水の検証の進め方 ・ 利水参画継続の意思及び開発量について
平成23年 1月14日	第3回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費・工期の点検（中間報告） ・ 利根川水系の八斗島地点における基本高水の検証（中間報告）
2月7日	第4回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の治水対策案・利水対策案の立案について（報告） ・ 利根川水系八斗島地点における基本高水検証の検討状況について（報告）
5月24日	第5回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検証に係る検討の今後の予定 ・ 利水参画者の必要な開発量の確認結果（案） ・ 利水参画者に対する代替案の検討要請の結果（案） ・ 概略評価による利水対策案について（案）
6月29日	第6回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利根川水系の基準地点八斗島上流における新たな流出計算モデルの構築（案）について ・ ハッ場ダム検証における河川整備計画相当の目標流量について
7月19日	第7回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の治水対策案のうちハッ場ダムを含む案について
8月29日	第8回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の点検結果 ・ 治水対策案を評価軸ごとに評価 ・ 利水対策案を評価軸ごとに評価 ・ 流水の正常な機能の維持の対策案を評価軸ごとに評価

ハッ場ダム建設事業等の点検

●総事業費及び工期の点検※1

- ・今回の検証に用いる残事業費及び工期は以下の通り。
残事業費：約1,300億円※2（平成23年度以降の費用を想定）
工 期：約87ヶ月（ダム本体工事の入札公告から試験湛水終了までを想定）

※1 参考資料-1「ハッ場ダム 堆砂計画及び総事業費の点検結果について」を参照。

※2 参考資料-1中「ハッ場ダム建設事業費総事業の点検結果（案）」に示したH22以降残額（1247.9億円）より平成22年度予算額（約154億円）を差し引き、「事業検証に伴う要素」「新たな指針の作成等に伴う要素」を加えたもの。

●堆砂計画※1

- ・「ハッ場ダムの建設に関する基本計画」における堆砂容量（1,750万 m^3 ）について、最新の手法により点検を行ったところ、100年間の堆砂量は約1,790万 m^3 と試算され、これは堆砂容量と大きく異なるものではなく、ハッ場ダムの堆砂計画は妥当と考えられる。

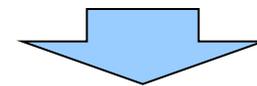
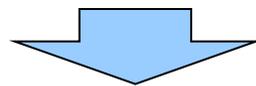
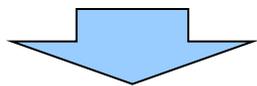
※1 参考資料-1「ハッ場ダム 堆砂計画及び総事業費の点検結果について」を参照。

●過去の洪水実績など計画の前提となっているデータ等の点検

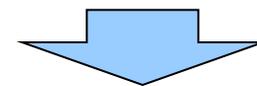
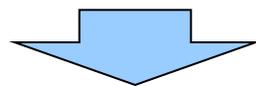
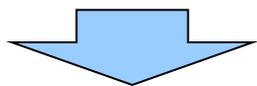
- ・雨量データ及び流量データ（以下、「雨量等データ」という）について、一定規模以上の洪水を対象に雨量等データを収集・整理し、点検を実施した。
- ・今回の検証に係る検討は、点検の結果、必要な修正を反映した雨量等データを用いて実施している。
- ・雨量等データの点検結果について、別途、インターネット等により公表する予定。

目的別の検討経緯

目的 検討項目	治水(洪水調節)	利水(新規利水)	流水の正常な機能の維持
目標の設定	17,000m ³ /s ※河川整備計画相当の目標流量 (八斗島地点)	22.209m ³ /s ※利水参画者の必要な開発量	2.4m ³ /s ※ハツ場ダム直下流[吾妻溪谷] に確保



複数の対策案 の検討	26方策を参考に組み合わせ ↓ 複数の治水対策案を検討 (20の対策案)	17方策を参考に組み合わせ ↓ 複数の利水対策案を検討 (12の対策案)	17方策を参考に組み合わせ ↓ 複数の流水の正常な機能の 維持の対策案を検討 (11の対策案)
---------------	---	---	---



概略評価と評 価軸ごとの評 価	概略評価で5案を抽出 ↓ 7つの評価軸について評価	概略評価で5案を抽出 ↓ 6つの評価軸について評価	概略評価で6案を抽出 ↓ 6つの評価軸について評価
-----------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------